

### いつも熊本日日新聞をご愛読いただきありがとうございます

暖かい日があったり、寒さが戻って来たりと、最近の気候は忙しいですね(^\_^;) 今年はスギ花粉も、早く飛び始めているようですので、花粉症の方は十分に対策をされてくださいね。マスクが早く、店頭にならぶ日を願います…。

TARAGI YUNOMAE MIZUKAMI OKAHARU

# 球磨ん タイムズ

地域と読者の架け橋

OKAHARU TARAGI YUNOMAE MIZUKAMI

編集・発行  
熊日多良木販売センター  
球磨郡多良木町大字多良木 356-1  
TEL 42-3355 FAX 49-1726  
<http://www.taragi.com/>  
熊日湯前販売センター  
球磨郡湯前町中里 1830 TEL 43-2151  
代)小出堅太郎 石田敏郎 那須信一  
編集：岩水由香

球磨んタイムズは当社ホームページでもご覧頂けます。また facebook ではコーナーごとに掲載中。「熊日多良木販売センター」を検索して下さい。

## おいしい「ポン菓子」作りを体験



ポン菓子機にお米を入れて、圧力をかけます。



鉄の棒で蓋の金具をたたくと…



ポン菓子のできあがり!



2月6日に岡原南の小川啓造様のご好意で、岡原もぞか保育園と専立寺こども園のそれぞれの園庭にて『ポン菓子』制作を披露してくださいました。全員初めての経験で大きな音を期待しつつ、ドキドキの参加でした。さっそく出来上がったポン菓子を頂くと「びっくりしたね」「パーン! って言ったね」「いい匂いだね」「おいしいね」と会話が弾んだ試食でした。貴重な経験をありがとうございました。

(原稿・写真提供：専立寺こども園)

## 笑顔で楽しく「いきいきサロン」活動



寺原雄大先生

2月12日に開催された多良木町の多良木2区の2いきいきサロン(山下光明老人会長・27名)に伺いました。年4回の食事会を含め、毎月歌や踊り、オカリナなどの講師を招きながら、毎月第2水曜日に地元公民館で笑顔で楽しみながら実施されています。今回は高階誠心堂薬局たらぎ店の寺原雄大先生をお招きし、手遊びや色読みテストをした後に、

寺原先生より薬にまつわる様々なお話や、参加者からの質問に1つつ丁寧にご答えいただきました。山下会長は「皆さんが元気で長生き出来るよう、このサロンを続けていきたい」と話されていました。

また、同サロンでは会費を捻出して、熊本日日新聞社発行の「健考手帳」を購入・配布されています。この1冊で4か月分の血圧や食生活、運動量などが毎日記録出来る様になっています。この健考手帳を用いるとお医者さんや薬剤師の方との相談もしやすくなりますし、記録していくことが脳のトレーニングになることを確認しました。

記入例

4月

1	2
67.1	67.1
120/85	128/82
9:00	9:30
125/80	132/86
21:30	20:30

健考手帳

済生会熊本病院 監修  
「健考手帳」

- ☑ 毎日の少しの時間で健康状態を簡単にチェックできる!
- ☑ 自身の健康管理を楽しく、無理なく行える!
- ☑ 見開きのページごとに済生会熊本病院のアドバイス付き!

B5サイズ  
¥220(税込み)  
※当販売センターで販売しております。

令和元年、人吉球磨唯一の  
オフィシャルブランド開始。

HITYOYOSHI KUMA

# 人吉・球磨

風水・祈りの浄化町

[www.hitoyoshifusui.com](http://www.hitoyoshifusui.com)

次のページへどうぞ

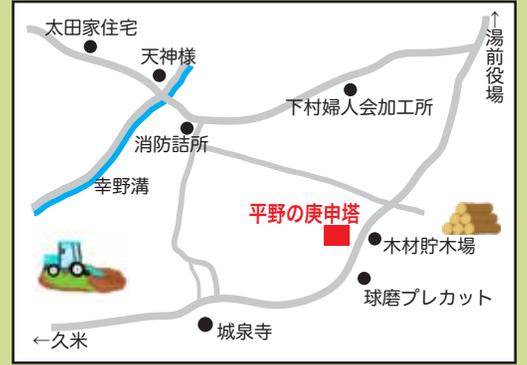
# 球磨ん文化財巡り NO.56



湯前町指定文化財  
平野の庚申塔



庚申塔は村境や三叉路に造立され、悪疫などの侵入を防ぐと信じられていました。六十日に一回めぐってくる庚申（かのえ・さる）の日に徹夜で本尊をまつり、健康長寿を祈って信仰されていました。この庚申塔は、高さが1.6m、元禄6年（1693）と大きく古いもので、梵字は「カ」（地藏菩薩）で、ここでは庚申の地藏菩薩です。正面に「二世安楽」とは、現世と来世の安穩（あんのおん）を祈ることです。



## 新聞記事を楽しむ!



～自分の力を取り戻そう～

昭和34年、平凡社から発行された日本残酷物語の「1・貧しき人々のむれ」に、明治の中ごろまで、東北地方の山村の農民の中には、収穫が少なく娘が一家の犠牲となって売られていった。その潮どきを見計らって、待っていましたと、男の子でも、豚の世話をすることに生きがいを感じています。洋服なんかは他人を、最上地方から人買い老婆がやってきて買っていった。その子どもを連れまわし、奉公先の買い手を求めて歩いていた、やからの史実が書かれていた。理不尽な環境で、貧しさで悲しさと苦難に耐えながら日常を暮らしていた事実も描かれている。昔の農民の暮らしを悲痛な思いで読み終えた。そんな時、コロナウィルスの拡大を受け、マスクが品不足でみんなが困っている。それに便乗しマスクを買い集め、通販サイトで5倍の高額な価格で売るやからの報道がなされていた。金儲けだけの価値判断でしかない。一方で、昭和53年秋田県大曲市の農民の暮らしを写真で綴った「米づくりの村」の本に、老農が「百姓はただ働くことによって生きてきた」と語り、農業青年は「この写真に写っている私はまだ赤ん坊です。あれから三十年近く経ちました。現在の私は自動車もいらぬし、金を儲けようと思いません。親たちと一緒に田園で汗を流して、待つていましたと、男の子でも、豚の世話をすることに生きがいを感じています。洋服なんかは他人のお下がりです。去年買ったのは中古のステレオと本箱だけでした。私の使命は、害のない農畜産物を作って消費者に届けることです」と素直な生き方を語っていた。

2月4日の新聞に、元第8代国連常務を暮らしていた事実も描かれている。「高等弁務官の最大の仕事は決断すること、判断の根っこにあるのは人の命を重んじる人間第一の思想。生きていさえすれば、次のチャンスが生まれる。心に決めたら、突き動かされるように行動する。『何かをしなれないとならないでしょう？したくなると語られた記事があった。」

(原稿提供：南稜高校 川北禎一先生)

## 大成功の「発表会」!!



2月8日（土）に球磨支援学校にて小学部「発表会」を実施しました。この発表会では、子供達が1年間頑張って取り組んだこと、できるようになったこと、興味をもったことなどをオリジナルの劇にして保護者の方々に披露しました。

今年の劇のストーリーは、夢の中で「マンブー王」から「宝箱をあげよう。友達と一緒に、宝箱の鍵となる4つのメダルを探してごらん。」と告げられた子供達がメダルを探して冒険に出かけるというものでした。

子供達は、友達と協力して数々のミッションをクリアし、メダルをゲットしていきます。ミッションをクリアするためには、みんなで歌ったり、問題に答えたりと1年間で学習した算数や国語、音楽など様々な学習の成果を発揮する必要がありました。また、子供達が作った「友達のいいところ」というスライドショーも上映され、見事4つのメダルをゲットしました。宝箱にメダルをはめ込み開けると、そこには「ともだち」の文字が輝いていました。宝とは、「ともだち」だと改めて気づくことができたところで劇が終わると、会場からは大きな拍手がおくられました。

子供達は大勢のお客さんの前で学習の成果を披露できた喜びで笑顔が輝いていました。この発表会を通して、また1つ大きな自信がつかしました。

(原稿・写真提供：球磨支援学校)

**暖談なあ**  
◆球磨焼酎の販路が世界に広がるかも、と思わせるうれしいニュースが、先月下旬の熊日や全国紙で報じられました。◆国税庁が3年前から海外の専門家を招いて日本の酒をPRしている一環で、今回初めて焼酎や泡盛を対象としたもの。県内では湯前町の豊永酒造を、米、英、カナダのパーテナーやライター7人が訪問◆500年に及ぶ焼酎の歴史やコウジから育てる工程、温度管理の苦心、さらには巨大なタンクの構造や蒸留器の材質まで、専門家らしい視点で質問を繰り返したとか◆人吉球磨では一般にお湯割りで楽しむ焼酎をストレートで試飲した一行は「フルーティーな味わい」「グリーンでピュア」「軽くてエレガント」などと評価したそうです◆海外旅行の土産話に「ロンドンのパブで球磨焼酎がベースのカルテルが出たよ」なんて、ごく普通に出る時代がそこまで来てるかもしれませぬ。(X)

## 多良木警察署だより



### 「電話で『お金』詐欺!？」 息子を名乗る不審な電話に注意

多良木警察署管内の高齢者宅に、息子を名乗る男から「お母さんね。昼頃家に帰る。」などといった不審な電話がかかっており「電話で『お金』詐欺」の電話とされます。

このような電話がかかってきたら!

(対策)

- 息子等の元々の携帯電話に電話をかけ直して確認する
- 住所、氏名などの個人情報をお教えしない
- すぐに警察や家族に相談するなど防犯対策をお願いします。



**怪しいと思ったら  
すぐに110番してください!**

その他、警察に相談する際は  
**多良木警察署 TEL 0966-42-4110**  
ご相談ください。

～お知らせ～

全国的に使用されている「特殊詐欺」という用語について、熊本県警においては「振り込め詐欺等」という用語を使用しているところですが、令和2年1月1日から「電話で『お金』詐欺」に変更しています。

(原稿提供：多良木警察署)